



11月21日(月)～11月27日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



カリタス支援所前は支援物資の配布に連日長蛇の列が出来ている。
ブラックフライデー(感謝祭後のセール)・クリスマス前という事もあり、多くの人が訪れ、人手不足となっていた。

ご支援総額

2022年11月23日までの寄付総額 108,103,983 円

寄付金使用総額 2873769.13 zł (約8334万円)

11/21(月)～11/27(日)の期間中の寄附金使用額

28544.01 zł (約83万円)



活動内容

支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。
カリタス支援所では配布物資の約80%を福田会の支援で賄っており、週に1度 5000 zł（約15万円）分の買い物をして物資を届けている。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、1週間で約530食を提供。
12月分のレストランクーポンのナンバリング作業を実施し、支援先に配布した。
（写真右）



食材支援（毎週金曜日）

33家族に1週間分の昼食用食材を提供。
一人あたり50złの予算を設け、合計で4567.70 zł（約137,000円）分の食材を購入。

ポーランドの大手スーパーでは一斉にアドベントカレンダーが販売され始め、クリスマス仕様の商品が並び始めた。

子どものためにクリスマス用のお菓子を購入する母親の姿も目立ち、「クリスマス本番に向け、週に1度の買い物で少しずつお菓子を購入する。」と話す母親もいた。
ウクライナ正教会においては、1月7日がクリスマスとなっている。





現地の動向

クラクフ中央広場では11月25日からクリスマスマーケットが始まり、町全体がクリスマスに向けて盛り上がりを見せている。

ポーランドでは、11月24日からウクライナ避難民向けに、滞在許可申請の受付が始まった。

2月の侵攻以降にポーランドに入国したウクライナ人は、ウクライナ特別法(2022年3月規定)により、18か月間は合法的に滞在出来る。

当該期間は最短で2023年8月24日に終了となっており、今後長期的にポーランドに滞在する避難民は、滞在許可の申請が必要となる。

同法によってポーランドに入国したウクライナ人は、入国から9か月を経過した日から一時滞在許可の申請が可能となるため、各市の移民局では、ウクライナ避難民からの申請予約が急激に増える見込みとなっている。

